

腹膜などの中皮腫

治療法確立を要請

厚労省に家族会

中皮腫・アスベスト疾患^{ちゅうひひしゅ}・患者と家族の会の小菅千恵子会長らは29日、厚生労働省で、八神敦雄医薬・生活衛生局長に対し、石綿（アスベスト）の吸入で腹膜・心膜・精巣しよう膜に発生する中皮腫について、既存薬の適用拡大と治療法の確立に向けた支援を要望した



【写真】。公明党の輿水恵一、中川康洋の両衆院議員が同席した。

小菅会長らは、胸膜中皮腫の治療で使用されている既存薬を腹膜などの中皮腫の治療薬として一日も早く承認することなどを要望。八神局長は、早期承認に向けて取り組む意向を示した。